

# 第3学年 特別活動(学級活動)学習指導案

指導者 平山 訓之

## I 題材名 『雨の日の遊びをくふうしよう』

## II 題材の指導構想

### 1 題材について

○ 本学級の子どもたちは、朝の始業前の時間や休み時間に元気に外に出て遊ぶ子どもたちが多く、また、進んで読書に取り組む子どもたちも見られる。一人一人の子どもどもたちが思い思いの活動をしながら休み時間を過ごしている。その一方で、雨の日や校庭が使用できない日には、ほとんどの子どもたちが教室や図書室で過ごすことになるが、運動時間に図書室で本を借りるため、特に昼休みの時間は多くの子どもたちが教室で過ごす姿が見られる。1人で読書や絵描きに取り組む子どもの姿や数名のグループで遊びをする子どもの姿が見られる。子どもたちの様子からは、室内で遊ぶことができる雨の日を活用して学級の仲を深めようとする意識や安全面に注意して活動しようとする意識を高く持っている様子は見られない。

また、本学級の子どもたちは4月に初めての学級編成を経験し、新しい友達や環境に喜びを感じながら毎日を過ごしている。初めての席替えでは「学習に集中できる座席」「仲を深められるような座席」を条件に話し合い、全員が納得する座席を決め、4月から比べるとこれまで学級が一緒ではなかった友達とも仲良く活動したり、男女問わず活動したりする様子が見られる。その一方では、一緒に遊ぶ友達が固定化されていたり、自分から積極的に友達の輪に入れずいたりする子どもの様子も見られる。そこで、子どもたちが室内で安全に仲を深めることができるように本題材を設定することとした。

○ 本題材は、学級活動の内容(1)「学級や学校の生活づくりへの参画」のア「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に位置付く。6月は梅雨の時期と重なって、室内での過ごし方が多くなるということから、けじめをもち、周りの人の気持ちを考えて安全に生活することが、学級の子どもたちのよりよい生活につながると考える。学級会を通して、雨の日の室内での遊び方をどのように工夫すればよいのかを話し合わせ、室内でも安全に楽しく遊ぶ取り組みを通して、仲良く協力して活動する態度を養わせたい。5月の指導題材である「みんなでなかよくなれる遊びを決めよう」の実践の振り返りを生かしながら、仲良くすることの心地よさをさらに体験させたいと考える。また、3年生で学級編成を行った子どもたちが、集団で一つの活動を行うことは、学級に対する所属感を高めることにつながり、よりよい人間関係を形成していくことが期待できる。さらに、生活の充実や向上を目指し自発的、自治的活動を行うことによって、実践する意欲や態度、話し合いの仕方などを育てることのできる題材であるとする。

○ 指導にあたっては、話し合い活動までの問題の意識化、問題解決の意欲化を事前の活動で高めていきたい。本時の話し合い活動では、提案理由の説明の後に、教師から子どもたちの現状の問題点、考えられる解決の方法、解決後のイメージなど活動目標に近づくための目指す姿を共通理解させ、雨の日にみんなで仲良く安全に遊べる遊びに取り組むことを確認して活動をスタートさせたい。

話し合いの出し合いの段階では、全員が自分の意見を自信をもって発表できるように、事前に学級会カードに自分の意見とその理由を考える時間を保障する。比べ合いの段階では、自己の主張だけに止まらず、友達の意見のよさにも目を向けることができるように、学級会カードには全ての考えについての「よさ」「心配な点」「アイデア」を記入する欄を設定し、事前に可能な限り考えさせて置き、空欄の部分や自分の考えと違う部分について着目させるようにし、話し合いを深める一助とする。まとめ合いでは、みんなが納得できるように安易な多数決だけは行わないようにしていく。また、全員が納得できるように、納得できずにいる子どもの意見に着目させるようにし、条件を付けたり妥協点を探ったりしながら折り合いをつけ、合意形成が図られるようにしていく。話し合いの振り返りの場面では、活動目標の成果や課題、友達のよさや頑張り、実践で楽しみにしていることを捉えることができるように視点を与えて振り返りを行う。事後の活動においては、話し合いで決まった雨の日のできる遊びを行い、自分たちで決めたままりを守りながら、みんなで楽しく実践できた達成感を味わわせたい。また、みんなできまりを守って生活することが、気持ちのよいことだと実感できるようにし、さらなる学級の生活向上と充実につなげていきたい。

### 2 復興教育(3つの教育的価値)との関連

○ 【仲間とのつながり】とのかかわり

「学級生活をよりよくしたい」という提案理由をもとに、その問題の解決にあたって、自分と友達の考えを認め合いながら比較検討し、よりよい合意形成を図ることで、集団の所属感や仲間の大切さを感じる。

○ 【身を守り、生き抜くための技能】とのかかわり

「けがなく安全な遊び」という視点で話し合うことで、自他の体や命を守ろうとする態度を養う。

## II 題材の指導計画

### 1 題材の目標

集団活動や生活についての知識及び技能	集団の一員としての思考力・判断力・表現力等	集団活動や生活への学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日の遊びの工夫について「友達との仲」「安全」の視点から理解したり、実行委員会の活動、話し合い活動の準備の仕方や効率的な進め方を理解したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の意見のよさを生かしたり、自分の言葉で建設的な意見を述べたりしながら、話合することができる。</li> <li>決定したことについて、創意工夫しながら自主的に準備をしたり、計画を立てたりして、みんなのことを信頼し合って実践することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級や学校全体のことを考えて学級会カードに提案理由を踏まえた自分の考えを記入したり、発表したりして話し合いに積極的に取り組むことができる。</li> </ul>

### 2 学びのつながり

- 子どもたちはこれまで、学級活動の内容（１）「議題ポストをつくろう」の学習において、議題ポストの役割について理解したり、目指す学級の姿に沿って、議題ポストの名前について合意形成を図ったりしながら選定する活動を行ってきた。また、同じく「みんなで遊ぼう」の学習においては、「学級の仲を深める」という視点で屋外での集団での遊びを考える話し合いを行い実践してきた。さらに、内容（２）「学校のきけん」の学習では、学校で安全に生活する上で必要となることに理解し、気をつけなければならないことは何かを話し合い、自分自身の課題を設定しながら安全に過ごすための実践を行ってきた。
- 本題材ではこれまでの学習経験を生かしながら、友達の考え方や意見の違いを理解した上で認め合おうとする見方・考え方、また、互いのよさを生かそうとする見方・考え方を働かせながら学習を展開していく。さらに、これまでの学習で培ってきた「学級の仲を深めること」の大切さや「けがなく安全に過ごすこと」について知識・技能を發揮しながら、より多面的な話し合いを展開していく。
- 以上のようにこれまでの話し合いで培ってきた見方・考え方を働かせながら、本題材で上記に示す資質・能力の育成を目指していく。本題材で身に付けた資質・能力は、7月の題材である集会活動の内容を話し合い、実践する際に、1学期の自分たちの成果と課題を振り返り、学級としての問題を発見し解決のために活動内容を話し合い、合意形成していく活動に発展していく。また、安全についての視点から話し合いを深めることで、校外での活動や特別活動のみならず各教科の中で活動を検討する際に、常に安全に活動することを念頭に置きながら自分たちの行動を考えるきっかけとすることができる。考える。

### 3 題材の評価規準

指導項目	集団活動や生活についての知識・技能	集団の一員としての思考・判断・表現	集団活動や生活へ主体的に取り組む態度
話し合い活動	計画 ①計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、計画的な進め方を理解している。	④議題について自分の考えをもち、計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。	⑦みんなで話し合う問題に関心をもち、計画委員会の活動や話し合いの準備などに、意欲的に取り組もうとしている。
	話し合い ②計画委員会の仕事の内容や計画的な話し合いの進め方を理解している。	⑤『雨の日の遊びをくふうしよう』の取り組みは何かを考え、よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめようと話し合っている。	⑧『雨の日の遊びをくふうしよう』の取り組みについて、自分の考えをもって話し合いに意欲的に取り組もうとしている。
集会活動	③『雨の日の遊びをくふうしよう』で決定したことについて、みんなで計画的に実践することの必要性や方法について理解し、実践している。	⑥『雨の日の遊びをくふうしよう』で決定したことや役割を考え、協力し合って実践している。	⑨『雨の日の遊びをくふうしよう』で決定したことについて、意欲的に準備や計画に取り組もうとしている。

### 4 題材の指導構想と評価の計画

月日	時間	対象児童	活動内容 働かせる見方・考え方	研究にかかわる手立て	評価基準及び評価方法
6/4	帰りの会	全員	○ 6月の学級活動の計画を立てる。（その後、計画委員が議題ポストを開ける。）	手立て(1)学級や学校の問題を自分事としてとらえさせる教師の働きかけ ・ 学級全体がよりよくなることであるかという視点で議題を選定させる。	

6/5	帰りの会	全員	○ 議題を決定する。 雨の日の遊びをくふうしよう。 ○ 実行委員を決める。	手立て(1) <u>学級や学校の問題を自分事としてとらえさせる教師の働きかけ</u> ・ これまでの平山学級の活動の良い点や改善点を見つける。	・ これまで高めてきた力をさらに高めるために活動を行いたいという理由を補足する。 【評価⑦・発言】
6/10	放課後	実行委員	○ 活動目標と内容を検討する。 ○ 話し合いの柱の原案を検討する。 雨の日に仲良く安全に過ごすためには、どんな遊びをどう工夫すればよいか。		
6/11	帰りの会	全員	○ 話し合いの柱を決定する。 ○ 室内での遊びのアンケートをとる。		・ 実行委員が中心となって行うことと、みんなで決めることを分けながら準備を行う。 【評価① 観察】
6/12	学級活動	全員	○ アンケートの結果を発表する。 ○ 話し合う内容について確認する。	手立て(2) <u>自他の考えの良さを理解し合いながら合意形成を図る話し合いの工夫</u> ・ アンケート結果から、安全に仲良く過ごすことができる遊びを考える。 ・ 学級会カードに自分の考えを記入させる。他の考えについても可能な限り、「よさ」や「心配な点」を考えさせ友達の考えへの関心を高めておく。	・ 話し合いの柱に沿って遊びの内容を考えるようにする。 【評価⑤ カード】 ・ 学級会カードに自分の考えや他の考えのよさや心配な点を記入する。 【評価⑧ カード】
6/13	帰りの会	全員	○ 本時の学級会において、みんなで解決していく問題であること確認する。	手立て(1) 前時までに確認した学級の問題やその解決方法、解決後の姿を振り返り、話し合いへの切実感を想起させる。 手立て(2) 話し合いを深めたい場面で、学級会カードをもとに友達の考えのよさにふれながら意見を発表させる。 手立て(3) 活動目標に対して自分や集団としてどうだったかを振り返らせ、全体で交流を図りながら、自己の高まりを実感できるようにする。	
	放課後	計画委員	○ 係の打ち合わせをする。		・ 実行委員が事前に学級会の話し合いの柱・提案理由・話し合いのゴールを全員に共通理解させるようにする。【評価④ 発言】
6/14	学級活動	全員	○ 雨の日のできる遊びを決め、どう工夫すればもつと安全に仲良く過ごせるか話し合う。		・ 教師の助言を受けながら、自分たちで決定できるようにする。 【評価②・⑤ 発言】
6/17 ～ 雨天日	運動時間	全員	○ 決まった室内遊びを行う。	・ 決まったことや準備してきたことを自分たちの力でできるように支援する。	・ 活動の目標を意識して、進めさせるようにする。 【評価③・⑨ 観察】 ・ 決まったことや準備してきたことを自分たちの力でできるように支援する。 【評価⑥ 観察】
	帰りの会	全員	○ 決まった室内遊びの振り返りを書く。	・ 今回の取り組みを通して頑張ったことや友だちの頑張りのよさ、次に生かしていきたいことについて記述させる。	・ 今回の取組を通して自他の頑張りについて記述させる。 【評価⑥ カード】

#### IV 本時の指導計画

##### 1 目標

○ 雨の日の遊び方の工夫について、学級生活の向上の視点で考えながら話し合うことができる。

##### 2 評価規準

【思考力・判断力・表現力】

『雨の日の遊びをくふうしよう』の取り組みは何かを考え、よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめようと話し合っている。

国語  
社会  
算数  
理科  
生活  
音楽  
図画工作  
家庭  
体育  
外国語  
道徳  
総合  
特別活動  
特別支援

<努力を要する状況の児童への手立て>

友達の考えを聞かせたり、板書に位置付けられた考えを見せたりして、相手の考え方を理解できるようにさせる。

3 展開

過程	子どもの活動 見方・考え方	時間	期待する 子どもの反応	研究にかかわる手立て	留意点と評価
1 始めの言葉	○ 司会の合図で話し合いを始める。	1			
2 係の紹介	○ 司会が係の紹介を行う。	1			
3 めあての確認	○ 話し合いのめあてを確認する。	1			
4 議題の確認	○ 議題を確認する。	1			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     雨の日に仲良く安全に過ごすためには、どんな遊びをどう工夫すればよいか。                 </div>					
5 提案理由の説明	○ 仲良く安全にという視点で話す。 ○ 決まっていること(条件)を確認する。 ○ 問題を自分事として捉える。	6	○ 4月よりもみんなと仲良くなったけれどもっと仲良くなりたいな。	<b>【手立て1】 学級や学校の問題を自分事として捉えさせる教師の働きかけ</b> ・前時に確認した、学級の問題やそれを解決する方法、解決後の目指す姿を確認し、話し合いに向けての切実感を高めさせる。	・ 提案理由の説明の中で、話し合いが行われる経緯について説明させる。
6 話し合い 【話し合いの柱】	○ 自分の考えとその理由を出し合う。 ○ 互いの考えを比較検討し、考えを分類・整理しながら話し合う。	25	○ じゃんけん列車はみんなが知っているし、体を動かして楽しくできるといふよさがあるけれど、友達との仲を深めることができるかが心配だな。	<b>【手立て2】 自他の考えの良さを理解し合いながら合意形成を図る話し合いの工夫</b> ※板書と連動した学級会カードを活用しながら、意見の出し合いや比べ合いを行う。 ・理由を加えながら自分の考えを発表させる。 ・出された考えについて賛成と思う点や心配な点について発表させる。 ・友達の考えのよさを認めながら多様な意見を修正・統合・発展させるようにさせる。 ・活動目標や条件を踏まえ、学級としてどの考えがよりよい考えか合意形成させる。	・一人一人の考えを黒板に提示する。 ・考えが変わった子どもには、その理由を話すように促し、考えの深まりを認める。 ・自分の意見に自信がもてないでいる子どもも指名しながら発言を促し、その努力を称揚する。
① どんな活動をやるか	○ 友達の意見から、自分の考えを修正・統合・発展させて話し合う。		○ クイズ大会は友達のことを知ることができそうだけれど、クイズの内容を考えるのはどうすればよいだろう。	<b>【手立て1】 学級や学校の問題を自分事として捉えさせる教師の働きかけ</b> ・話し合いが停滞したり、提案理由に沿っていなかったりした際、活動目標に立ち返らせ(どの考えが学級全体にとってよい考えになっているか)、よりよい結論を導き出せるように助言する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【思考力・判断力・表現力】</b>                      『雨の日の遊びをくふうしよう』の取り組みは何かを考え、よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめようと話し合っている。(随・ノド)                      &lt;努力を要する状況の児童への手立て&gt;                      ・友達の考えを聞いたり、板書に位置付けられた考えを見せたりして、相手の考え方を理解できるようにする。                 </div>
② どんな工夫ができるか	○ お互いの考えのよさを理解し合い、よりよい合意形成をする。		○ フルーツバスケットはみんなで盛り上がるのでできそうだけれど、焦ってぶつかったりすると危ないから安全にできるくふうはないかな。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     (予想される子どもの反応)  <b>【話し合いの柱①】</b>                      ・みんなでじゃんけん列車をやりたいな                      ・クイズ大会をするとよさそうだ                      ・フルーツバスケットをするとよさそうだ  <b>【話し合いの柱②】</b>                      ・好きなものや得意なことを紹介すると友達のことを知ることができそうだ                      ・激しい運動は教室ではあぶないな                 </div>					
7 決まったことの確認	○ ノート記録が発表する。	1			
8 今日の話合いの振り返り	○ 自分の考えが話し合いを経てどのように変わったか、深まったかを学級会カードに書き、発表する。	5	○ 始めは違う考えだったけれど、友達の考えを聞いて仲を深められそうだなと思って意見を変えました。 ○ 色々なよさや、理由があるんだなと思いました。	<b>【手立て3】 自己の変容と集団の高まりをつなげる振り返りカードの活用</b> ・活動目標に対して自分や集団としてどうだったかを振り返らせ、全体で交流を図りながら、自己や集団の高まりを実感できるようにする。	・決まったことを短く発表させる。 ・話し合いや活動に対しての意識の持続化を図るために、次の視点で振り返りをさせる。 ①活動目標に対する、自分や友達の頑張りやよさ。 ②友達の考えのよさに目を向けながら話し合いができたか。
9 先生から	○ 教師の話聞く。	3			
	○ 司会が話す。	1			
10 終わりの言葉					・助言の中で、考え方のよさや参加態度などを賞賛し、話し合ったことの満足感や実践への期待感を高める。